

単元指導計画（F社会 公民分野）

単元名「わたしたちの暮らしと経済」

(1) 単元の目標

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
身近な経済活動である消費を中心に、個人の消費生活に対する関心を高め、それを積極的に追求しようとしている。	市場の働きにゆだねることが難しい問題について、租税を中心に政府が果たしている役割について適切に表現している。	個人の消費生活や企業の生産活動に関する資料を図表にまとめ、そこから適切に情報を読み取ることが出来る。	市場経済のしくみと国や地方公共団体が果たす役割について理解し、その知識を身につけている。

(3) 指導と評価の計画（全4時間）

次 程	学習活動	評価の観点				評価規準等
		関	思	技	知	
第1次 (1時間)	【ねらい】 需要と供給の関係に注目させ、市場経済のしくみについて理解させる。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○身近で具体的な事例を取り上げながら、需要・供給・均衡価格の関係を理解し、市場経済のしくみについて理解する。 ○きゅうりの入荷量と価格の動きを示した表を用いて、それらをグラフ化し、気がついたことをまとめる。 	●	●			<ul style="list-style-type: none"> ・価格の決まり方について理解し、その知識を身につけている。【知】 ・価格の変化についてグラフを作成し、その表を適切に読み取ることができる。【技】
第2次 (1時間)	【ねらい】 租税にはどのような役割があるか説明できるようになる。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○国の歳入と歳出のグラフから、政府がどのような分野に支出を行っているか着目する。 ○身近な税金を取り上げながら、租税の仕組みや、それらが果たしている役割について考える。 	●		●		<ul style="list-style-type: none"> ・国や地方公共団体が果たしている役割を理解し、その知識を身につけている。【知】 ・なぜ租税制度があるのか、その意義や役割について適切に表現している。【思】
第3次 (2時間)	【ねらい】 人生設計を通じて、自分自身の家計や消費生活への関心を高める。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○30歳になった時の自分の姿を想像し、人生において選択が必要であることに注意を向ける。 ○人生に必要な費用やリスクについて着目し、それらを予想する。 ○人生設計ゲームを実際に取り組み、その結果やペア活動での交流をもとに、分かったことについて文章でまとめる。 	●	●			<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活への関心を深め、活動の自己評価や他者への助言などのペア活動を積極的に取り組んでいる。【関】 ・リスクや費用等を踏まえた上で、人生設計において重要な点について自分の考えを表現することが出来る。【思】